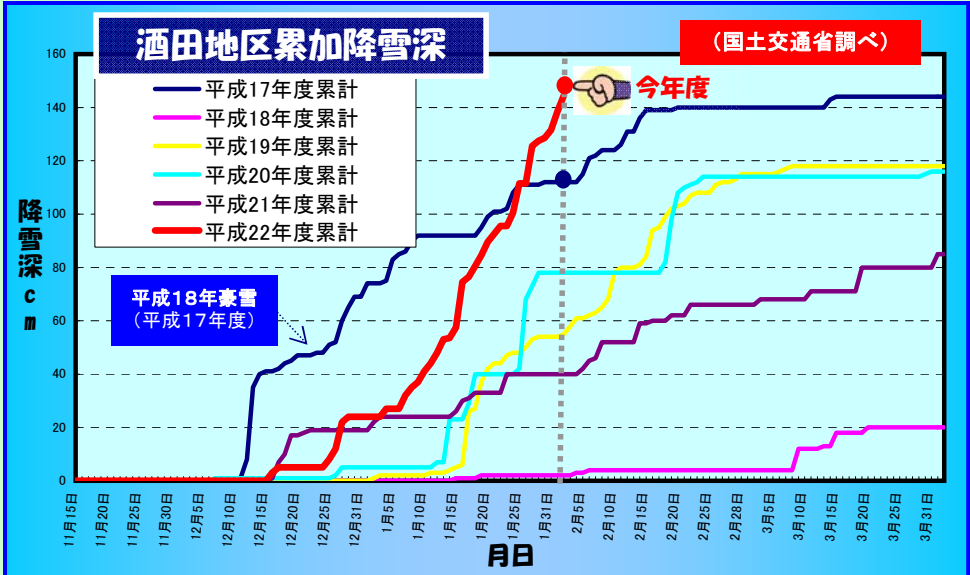


～1月豪雪～

酒田で208cm

酒田LINE

山形地方気象台の発表によると、山形県では、発達した低気圧や冬型の気圧配置の影響で、12月下旬から積雪が多くなり、各地で「平成18年（2006年）豪雪」に匹敵する積雪となっており、酒田の1月の降雪量は208cm。この数字は、1953年の統計開始以降で、1位の記録となっているそうです。



左のグラフは酒田地区の過去5年分の累加降雪深を表したグラフです。(国土交通省調べ)

山形地方気象台の発表した情報と同様に平成23年2月1日現在、「平成18年(2006年)豪雪」を上回るペースでの降雪量となりました。

2月に入り、寒気は幾分緩みましたが、まだまだ朝晩の冷え込みは厳しいので、凍結した路面、融雪時のぬかるむ路面での車の運転・歩行時には十分注意してください。



～道路の穴にご注意を～

冬はポットホールが発生しやすい時期です。

ポットホールとは、アスファルト舗装表面にできる局所的な小穴のことです。ポットホールは、雨水の浸透による表面の剥離が原因となって発生しやすくなりますが、冬期は、水分が凍結により膨張、解凍により収縮を繰り返すため特に発生しやすくなります。

パトロールでポットホールを発見したときは、右の写真のように補修用の材料（アスファルト混合物）を詰めて平坦にする作業を行っています。



朝晩の冷え込みによる路面凍結はまだまだ続きます。状況に応じた対応（車の運転・歩行）をお願いします

国道7号酒田市、遊佐町・47号酒田市、庄内町に関するお問い合わせは、国土交通省 酒田国道維持出張所までお願いします。
酒田市豊里字南沼田ノ上11-3
TEL; 0234-34-2331
※写真・個人名を本紙に掲載することについては、皆様から了承を得ております。

平成23年2月24日 発行
国土交通省東北地方整備局
酒田河川国道事務所
酒田国道維持出張所